

# 第43期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

## 基本理念

### 目的（存在理由）

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第43期（平成23年4月1日～平成23年9月30日）  
中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当事業年度における日本経済は、東日本大震災による  
甚大な被害を受け、生産設備の毀損や原発事故による電力  
不足など、期初には生産・輸出を中心に大きく落ち込み  
ましたが、被災企業の生産設備の復旧や家計・企業の消費  
マインドの回復が進み、景気は持ち直しつつあります。し  
かしながら、依然として国内消費の回復は弱く、円高の進  
行や海外経済の減速など先行き不透明な状況が続いて  
います。

このような状況の中、当社は、東日本大震災の被災地  
域において、約2,000戸の応急仮設住宅を建設しました。

そのほか震災復興に伴う仮設現場事務所や仮設店舗、仮  
設庁舎などの建設需要に対応するため、ユニットハウスや  
人材などの経営資源を東北地域に集中し、早期復興に向  
けた取り組みを進めています。

現在、東日本大震災の被災地域では、応急仮設住宅の  
建設はほぼ一段落し、今後は震災復興に必要な仮設建物  
の建設が社会的な要請としてより高まってくると思われま  
す。必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供  
する——当社のユニットハウスは、このような有事の際にも  
役に立つと確信し、被災地および日本の復興に向けて全  
社一丸となって努力を続けてまいります。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンテアスピ  
リッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指  
し、失敗を恐れず情熱をもって活動していきます。

### 当事業年度（平成23年4月1日～ 平成23年9月30日）の業績について

東日本大震災からの復興に向けて全力をあげる一方で、  
ここ数年来続けてきた展示場やトランクルームの積極的な  
出店による販路の拡大と、本建築市場・不動産市場の開  
拓に、当期も継続して取り組みました。

各事業の概況について、ご報告いたします。

ユニットハウスのレンタルにおいては、前述の東北地域  
の震災復興需要に優先的に取り組むとともに、設備などの  
付帯工事の獲得を強化するなど受注単価UPに努めまし  
た。トランクルームにおいては、新たに15店舗を出店するな

ど売上拡充に努めました。その結果、当第2四半期連結累  
計期間レンタル料収入は8,244百万円となりました。

ユニットハウスの販売においては、当社直営の展示場を  
14店舗出店し、販売チャネルの拡充に努めるとともに、オ  
フィスや店舗など本建築物件の受注に注力しました。その  
結果、当第2四半期連結累計期間製品売上高は8,036  
百万円となりました。

これらの結果、ユニットハウス事業の当第2四半期累計  
期間売上高は16,280百万円となりました。その他の事業  
については、当第2四半期連結累計期間売上高は177  
百万円となり、当第2四半期連結累計期間売上高は  
16,457百万円となりました。

利益面においては、製造及び施工現場での原価低減  
により、営業利益3,184百万円、経常利益3,175百万円、  
四半期純利益は1,675百万円となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活か  
し、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の  
拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指  
導ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成23年12月

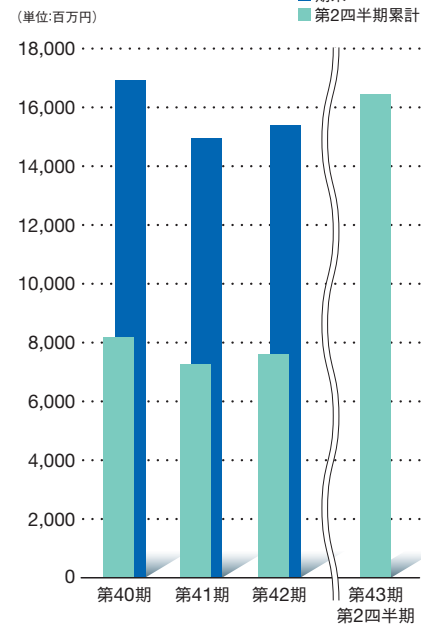
代表取締役社長 長妻貴嗣

## 業績ハイライト

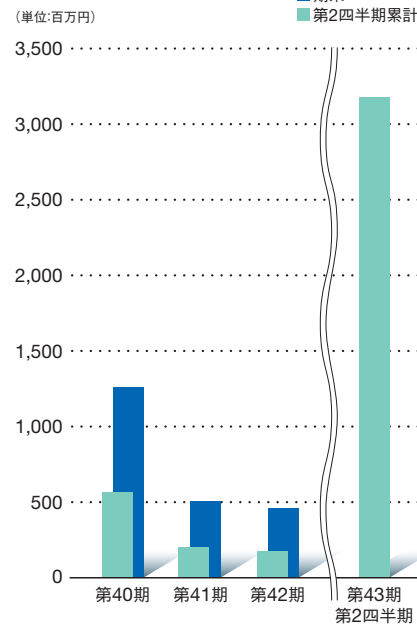
区分 \ 期別	第40期 (平成21年3月期)	第41期 (平成22年3月期)	第42期第2四半期 (平成23年3月期)	第42期 (平成23年3月期)	第43期第2四半期 (平成24年3月期)
売上高(百万円)	16,926	14,916	7,578	15,381	16,457
経常利益(百万円)	1,259	506	174	454	3,175
当期純利益(百万円)	674	209	35	170	1,675
1株当たり当期純利益(円)	30.27	9.49	1.59	7.72	75.91
総資産(百万円)	26,795	25,801	25,602	26,290	32,535
純資産(百万円)	16,611	16,555	16,504	16,531	18,087

(注) 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

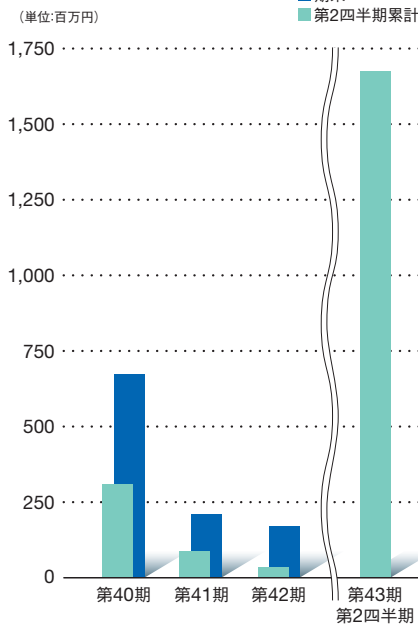
### 売上高の推移



### 経常利益の推移



### 当期純利益の推移



免責条項

本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

## 各事業の概況

### ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。  
建設現場からイベント、応急仮設住宅まで  
必要な期間にあわせて最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、東北地域の震災復興需要に優先的に取り組むとともに、設備などの付帯工事の獲得を強化するなど受注単価UPに努めました。

その結果、今期のレンタル料収入は8,244百万円になりました。

今後とも、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客への営業を強化していきます。



### ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など  
全国のさまざまなシーンで  
ユニットハウスが活躍しています。

前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図りました。また、オフィスや店舗など本建築物の受注獲得に努めました。その結果、販売収入は8,036百万円となりました。

今後とも市場ニーズに合わせた製品の開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大に努めていきます。



## Topic 1 東日本大震災～復興への取り組み～

東日本大震災からの復興に向けて、当社は、被災地で仮設の住宅や庁舎、校舎、診療所などの建設に全力で取り組んでいます。当社が建設した仮設建築物の施工例をご紹介します。

### 応急仮設住宅の建設

当社では、政府および自治体の要望を受けて、宮城、岩手、福島、千葉の各県で約2,000戸の応急仮設住宅を建設しました。

ユニットハウスがもつ短期施工という特長を活かし、全社を挙げて急ピッチで建設を進め、1日も早く被災者の方に快適な空間を提供できるように努めました。



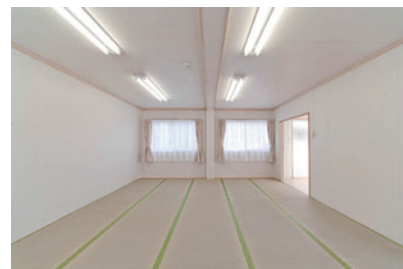
石巻市 旧大原中学校跡地に建設した応急仮設住宅



東松島市 宮戸小学校グラウンド



応急仮設住宅の内部(左:キッチン、右:ダイニング)



応急仮設住宅に併設されている談話室

### 仮設建物の建設

住宅に加えて、公共の建物の多くが被災して使えなくなり、臨時の施設が必要とされました。当社では、校舎や庁舎、診療所、店舗、事務所など期間限定で必要となる仮設建物の建設を請け負っています。

ユニットハウスは工場で大半を生産し、現地での組み立て・施工作业が少ないため、大規模な建物も短納期で提供することができます。たとえば、『CT-90J』を64ユニット使った32連2階建ての仮設校舎は、約10日間で建設することができました。



手前が仮設校舎、奥が本校舎



仮設校舎内の教室

## Topic 2 今期、新たに29店舗をオープン

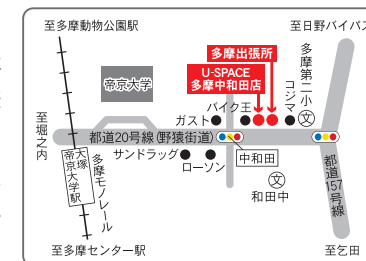
当社は、ユニットハウスを販売する展示場およびトランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを全国展開しています。今期、オープンした29店舗の中から、複合店である多摩出張所・U-SPACE多摩中和田店をご紹介します。

### 多摩出張所・U-SPACE多摩中和田店

東京都内で3店舗目のユニットハウス展示場として、多摩出張所を2011年4月にオープンしました。都内では初めてとなる屋内型トランクルームを併設しており、U-SPACE多摩中和田店として近隣のお客様に63ルームを貸し出しています。

同店は、主要都道である野猿街道に面し、東京のベッドタウンである多摩エリアのほぼ中央に位置しています。展示場経営に必要とされる交通量と、トランクルーム経営に必要とされる近隣世帯数の条件を兼ね備えた理想的な立地といえます。

事務所とトランクルームの建物にはユニットハウス『Quo』を採用し、多摩エリアを中心に幅広いエリアのモデルルームとして、ご利用いただいています。



多摩出張所(展示場): TEL 0120-865-390  
U-SPACE多摩中和田店(トランクルーム): TEL 0120-471-383



多摩中和田店(トランクルーム)



多摩出張所(展示場)

# 連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表(要旨)

資 産	(単位:千円)	
	第43期第2四半期 (平成23年9月30日)	第42期末* (平成23年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>11,502,589</b>	<b>6,507,660</b>
現金及び預金	3,783,483	1,374,253
受取手形	842,191	755,359
営業未収入金	2,705,230	1,976,834
売掛金	1,796,377	901,315
棚卸資産	1,767,013	1,077,002
繰延税金資産	273,945	76,817
その他	334,347	378,377
貸倒引当金	—	△ 32,300
<b>固定資産</b>	<b>21,033,083</b>	<b>19,782,655</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>20,122,218</b>	<b>18,537,967</b>
レンタル資産	9,739,237	8,572,544
建物	1,101,503	1,010,619
土地	8,169,638	8,189,748
その他	1,111,838	765,055
<b>無形固定資産</b>	<b>174,924</b>	<b>122,394</b>
投資その他の資産	735,940	1,122,292
<b>資産合計</b>	<b>32,535,672</b>	<b>26,290,315</b>

負 債	(単位:千円)	
	第43期第2四半期 (平成23年9月30日)	第42期末* (平成23年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>10,933,789</b>	<b>6,272,966</b>
支払手形	650,093	186,292
買掛金	3,543,817	1,917,431
短期借入金	1,463,160	2,158,000
未払費用	1,675,032	1,413,391
未払法人税等	1,707,712	166,700
賞与引当金	319,166	111,600
その他	1,574,807	319,551
<b>固定負債</b>	<b>3,514,255</b>	<b>3,485,406</b>
長期借入金	2,708,000	2,812,000
退職給付引当金	412,664	358,720
役員退職慰労引当金	162,676	143,095
その他	230,914	171,590
<b>負債合計</b>	<b>14,448,044</b>	<b>9,758,373</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>18,095,775</b>	<b>16,509,440</b>
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,707,031	2,698,150
利益剰余金	14,156,955	12,579,474
自己株式	△ 313,661	△ 313,633
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>△ 31,599</b>	<b>△ 949</b>
その他有価証券評価差額金	△ 1,110	△ 949
為替換算調整勘定	△ 30,488	—
新株予約権	23,452	23,452
<b>純資産合計</b>	<b>18,087,628</b>	<b>16,531,942</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>32,535,672</b>	<b>26,290,315</b>

## 四半期連結損益計算書(要旨)

	(単位:千円)	
	第43期第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	第42期第2四半期* (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	16,457,720	7,578,428
売上原価	10,107,411	4,901,725
<b>売上総利益</b>	<b>6,350,309</b>	<b>2,676,703</b>
販売費及び一般管理費	3,166,026	2,464,819
<b>営業利益</b>	<b>3,184,282</b>	<b>211,883</b>
営業外収益	39,428	27,754
営業外費用	47,764	65,496
<b>経常利益</b>	<b>3,175,946</b>	<b>174,141</b>
特別利益	—	2,124
特別損失	40,082	60,199
<b>税金等調整前純利益</b>	<b>3,135,863</b>	<b>116,066</b>
法人税等	1,460,294	80,953
<b>少数株主損益調整前純利益</b>	<b>1,675,569</b>	<b>—</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>1,675,569</b>	<b>35,112</b>

## 四半期連結包括利益計算書

	(単位:千円)	
	第43期第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
少数株主損益調整前純利益	1,675,569	
その他の包括利益	△ 31,599	
<b>四半期包括利益</b>	<b>1,643,970</b>	

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

	(単位:千円)	
	第43期第2四半期 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,381,904	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 163,293	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 946,512	
現金及び現金同等物に係る換算差額	429	
現金及び現金同等物の増減額	2,272,527	
現金及び現金同等物の期首残高	1,318,493	
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,591,021	

※ 第43期より、連結決算を採用しています。第42期以前は、単体決算であり、参考値として掲載しています。

## 企業の概要 (平成23年9月30日現在)

商号	三協フロンテア株式会社	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	常勤監査役	石原 幸夫
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-20)第18154号  
 一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-0704-1483号

## 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,233名 (平成23年3月末比17名減)

### 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	2,148	9.20
三協フロンテア従業員持株会	445	1.91
個人株主	338	1.45
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.85
(株)千葉銀行	195	0.84
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	184	0.79
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70

※当社は自己株式を1,282千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 株主メモ

事業年度  
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会  
毎年6月

期末配当金受領株主確定日  
3月31日

中間配当金受領株主確定日  
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法  
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)  
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所  
大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

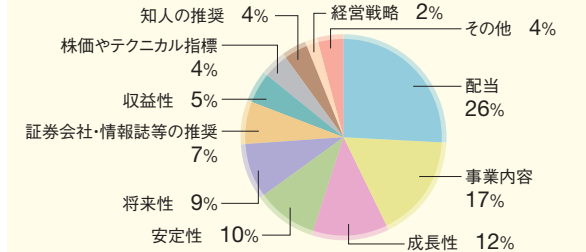
### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成22年4月1日付のジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併により、当社普通株式は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場されております。

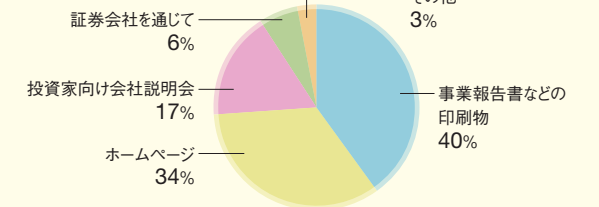
## アンケート結果のご報告

「第42期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。110名ほどの株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。  
 当社では株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動に反映させていただきたいと考えております。

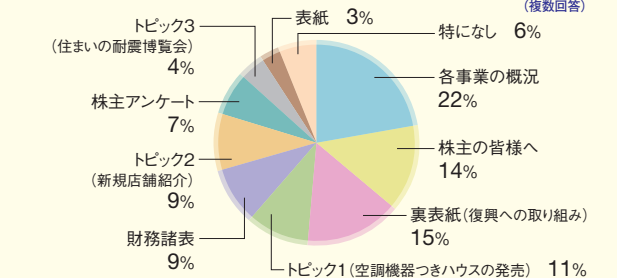
### Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。(複数回答)



### Q2 今後、当社のIR情報提供手段として望まれるものをお聞かせください。(複数回答)



### Q3 事業報告書の内容で最も興味深かった内容は何ですか?(複数回答)



## 当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り、株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

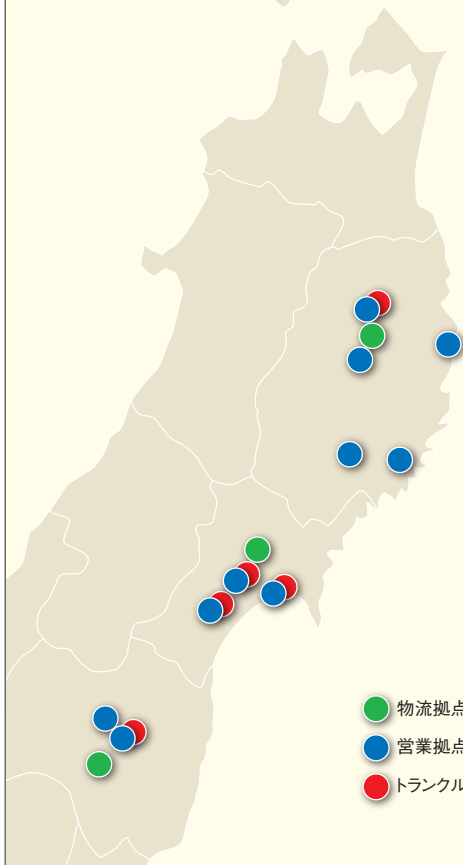


当社は、東北地域に物流拠点3ヵ所、営業拠点(営業所・出張所・展示場)10ヵ所、トランクルーム5ヵ所のネットワークを有しています。

物流拠点は仙台・盛岡・郡山にあり、それぞれユニットハウスの整備・保管・出荷を担っています。東日本大震災による品不足が続くなか、他地域から東北地域にユニットハウスを集めて、出荷するなど、需要に応じた供給能力の確保に努めています。

営業拠点・トランクルームにおいては、今期、新たに8つの店舗をオープンしました。お客様の要望に応えられるよう、各店舗ともに万全の体制で対応していきます。

営業部門・物流部門が力を合わせ、東北地域の早期復興に貢献できるよう、努めていきます。



- 物流拠点
- 営業拠点
- トランクルーム



仙台サービスセンター



盛岡出張所・U-SPACE盛岡見前店  
(2011年8月OPEN)



石巻店・U-SPACE石巻築山店  
(2011年9月OPEN)



U-SPACE郡山香久池店  
(2006年2月OPEN)